

ヘッジファンド概況（2019年6月）

2019年7月

資産運用研究所
ファンドアナリスト
野澤 光希

当月（2019年6月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2019年7月15日時点で報告があった53.47%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは7月24日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～戦略別では8戦略、地域別では全地域の運用損益がプラス～

当月のヘッジファンド全体の純流出入額は64億ドルの純流出となり、15ヵ月連続でマイナスとなった。しかし、運用損益が155億ドルの運用益となったことで当月末の運用残高は91億ドル増加し、2兆2,943億ドルとなった（図表1）。

戦略別にみると、当月は僅かに運用損となった破綻債券を除く8戦略（その他を除く）が運用益となった。また、5戦略が純流入となり、運用残高が増加したのは6戦略であった（図表2,3）。なお、最も運用残高が増加したのはマネージドフューチャーズ（54億ドル増）であった。

投資地域別でみると、純流出入額は中南米を除く全地域でマイナスとなったが、運用損益は全地域でプラスとなり、運用残高は欧州を除く全地域で増加した（図表4,5）。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～直近1年間のリターンが最も大きかったのは債券アービトラージ～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

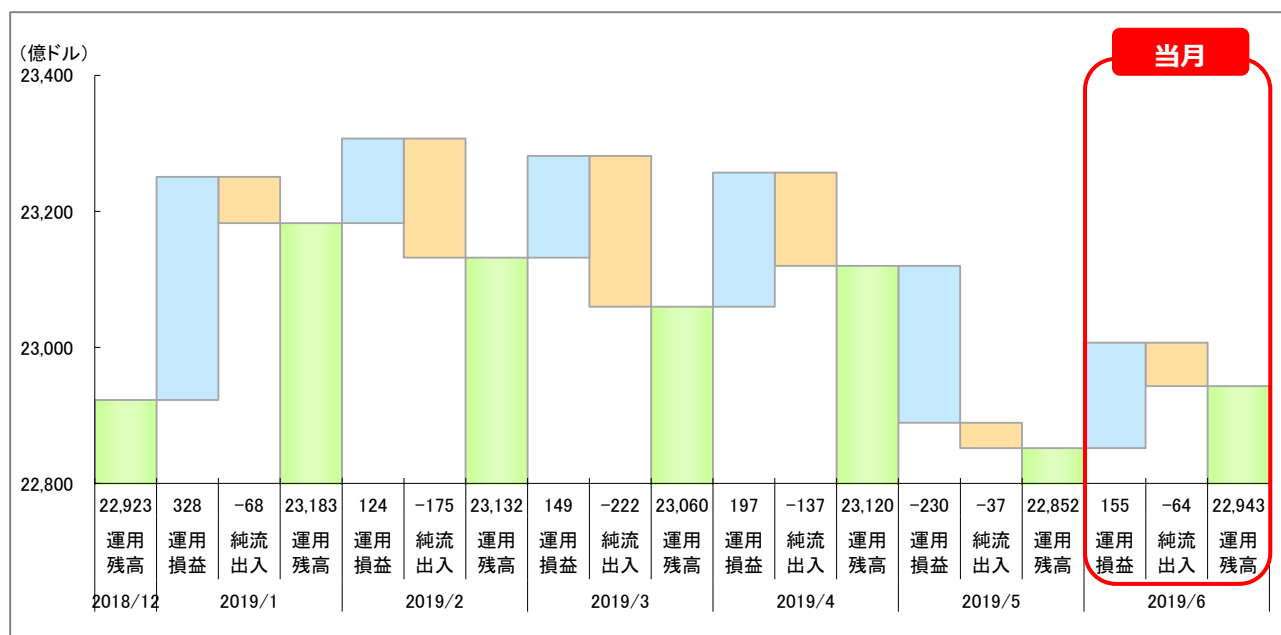
当月のユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターンは+1.79%となった。戦略別にみると、当月は2ヵ月ぶりに9戦略全てがプラスであった。特に、マネージドフューチャーズは+2.18%と9戦略の中で最も大きなプラスとなり、次いで株式ロング・ショートが+2.04%であった。また、直近1年間のリターンでは、9戦略中7戦略がプラスとなり、最も大きなプラスは債券アービトラージの+4.57%であり、リターン/リスク比でも最大となっている。

※この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6
2.29	0.95	0.70	1.00	-1.05	1.79

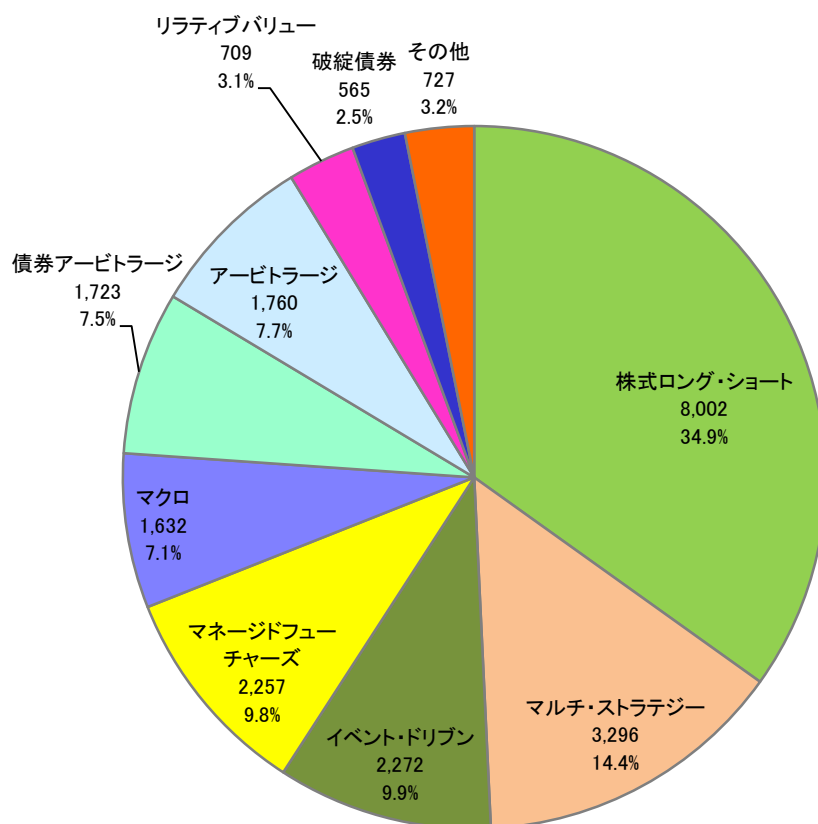
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	6月末 運用残高 a + b + c	6月末 構成比	5月末 運用残高 a	6月中 運用損益 b	6月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	8,002	34.9%	7,978	66	-42	24
マルチ・ストラテジー	3,296	14.4%	3,263	23	10	33
イベント・ドリブン	2,272	9.9%	2,266	4	2	6
マネージドフューチャーズ	2,257	9.8%	2,204	31	23	54
マクロ	1,632	7.1%	1,658	14	-40	-26
債券アービトラージ	1,723	7.5%	1,733	13	-23	-10
アービトラージ	1,760	7.7%	1,753	1	6	7
リラティブバリュー	709	3.1%	707	1	1	2
破綻債券	565	2.5%	565	-0	-0	-0
その他	727	3.2%	725	2	-1	1
全体	22,943	100.0%	22,852	155	-64	91

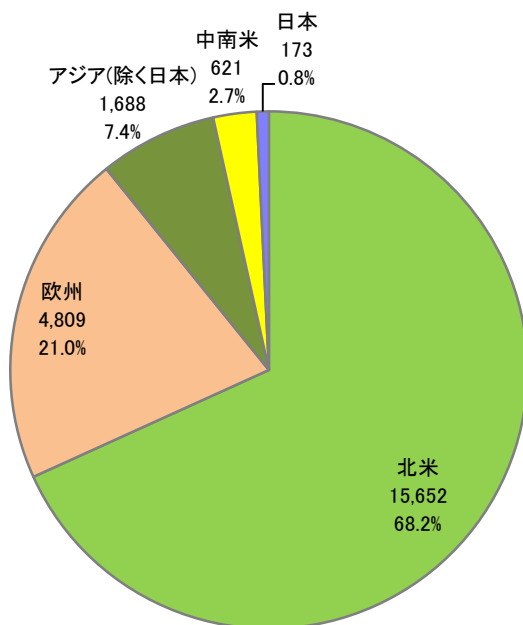
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2019年6月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	6月末	6月末	5月末	6月中	6月中	運用損益+ 純流出入 b+c
	運用残高 a+b+c	構成比	運用残高 a	運用損益 b	純流出入 c	
北米	15,652	68.2%	15,567	105	-20	85
欧州	4,809	21.0%	4,824	28	-43	-15
アジア(除く日本)	1,688	7.4%	1,674	16	-1	14
中南米	621	2.7%	615	5	1	6
日本	173	0.8%	172	1	-0	1
全体	22,943	100.0%	22,852	155	-64	91

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2019年6月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

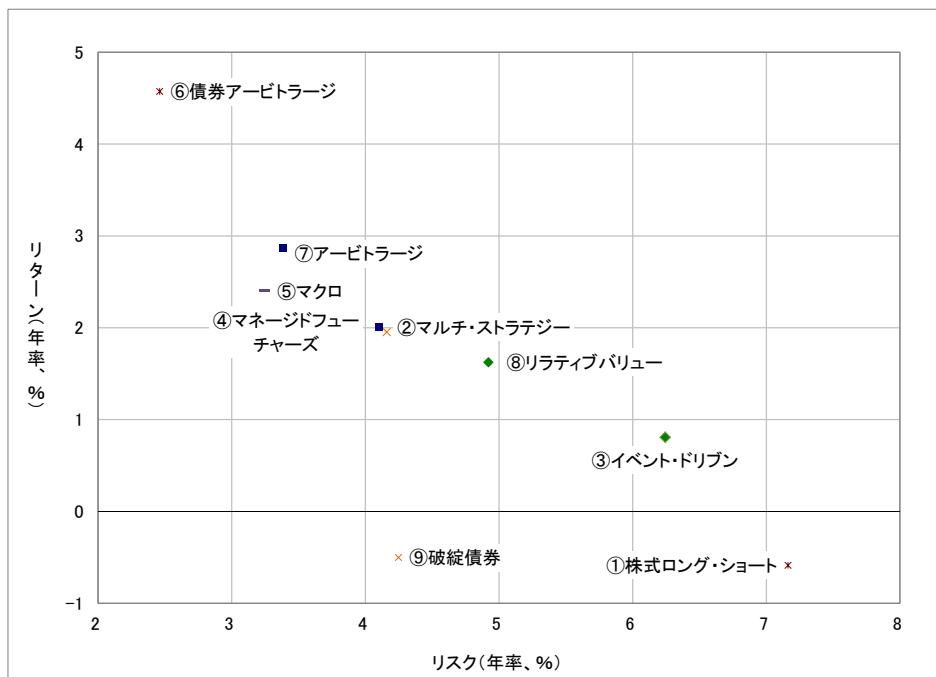
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略	2018	2018	2018	2018	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2019	2019	直近1年間	
	/7	/8	/9	/10	/11	/12	/1	/2	/3	/4	/5	/6	リターン	リスク
①株式ロング・ショート	0.35	-0.17	-0.50	-3.57	-0.42	-2.73	3.65	1.45	0.48	1.26	-2.21	2.04	-0.59	7.16
②マルチ・ストラテジー	0.52	-0.33	0.20	-1.79	-0.40	-1.31	2.31	0.71	0.48	0.71	-0.80	1.77	2.01	4.11
③イベント・ドリブン	0.28	-0.60	0.30	-2.25	0.19	-2.92	3.70	1.17	0.20	1.41	-1.75	1.24	0.81	6.24
④マネージド・フューチャーズ	-0.21	0.96	-0.44	-2.42	-0.15	0.16	-0.21	0.29	1.74	0.83	-0.72	2.18	1.95	4.16
⑤マクロ	0.21	-0.47	0.18	-1.23	-0.68	-0.64	1.72	0.22	0.56	0.48	0.09	1.98	2.40	3.25
⑥債券アービトラージ	0.83	-0.24	0.51	-0.58	-0.42	-0.47	1.72	0.75	0.63	0.83	-0.00	0.95	4.57	2.46
⑦アービトラージ	0.40	0.32	0.16	-1.48	1.98	-1.58	0.70	0.81	0.36	0.57	-0.17	0.80	2.86	3.38
⑧リラティブバリュー	0.62	0.09	0.12	-1.48	0.51	-2.57	2.58	0.80	-0.05	1.21	-1.51	1.39	1.62	4.92
⑨破綻債券	0.56	0.33	0.90	-0.64	-1.59	-2.47	1.93	0.32	-0.10	0.89	-1.15	0.58	-0.50	4.25
⑩TOPIX(配当込)	1.30	-1.00	5.55	-9.41	1.30	-10.21	4.92	2.60	0.09	1.65	-6.52	2.76	-8.23	18.33

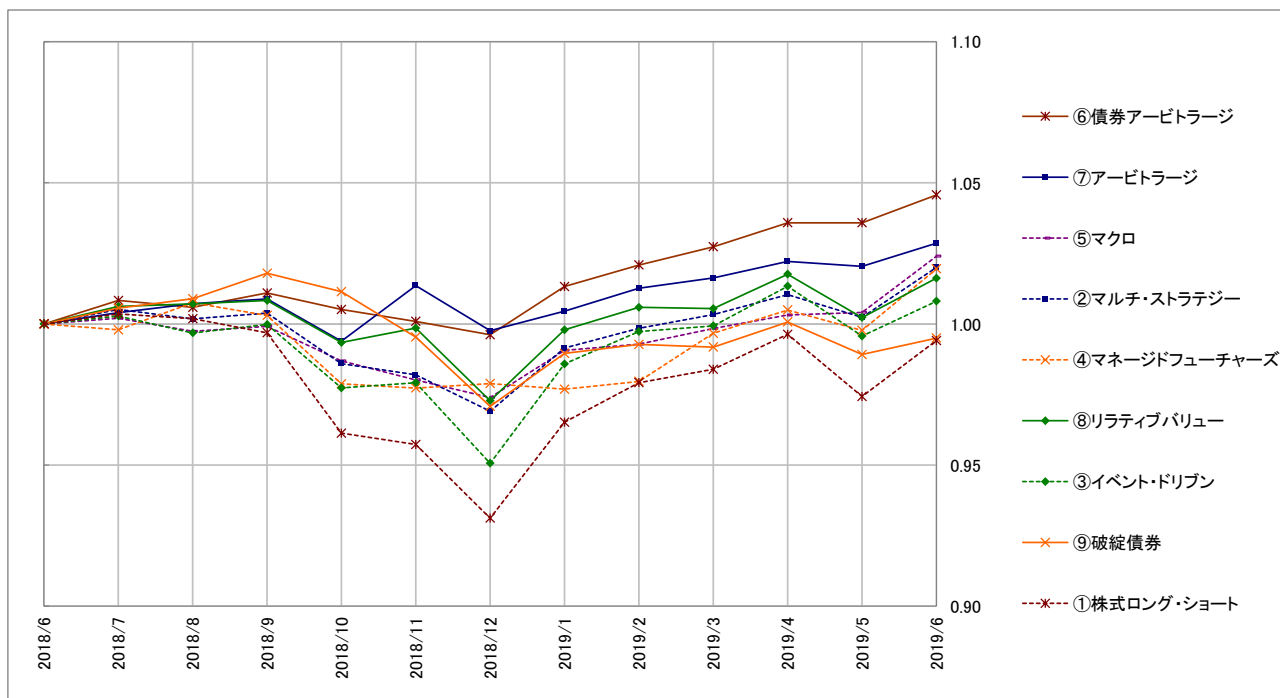
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2019年6月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	値	順位	値	順位	値	順位
①株式ロング・ショート	-0.59	9	7.16	-0.08	8	
②マルチ・ストラテジー	2.01	4	4.11	0.49	4	
③イベント・ドリブン	0.81	7	6.24	0.13	7	
④マネージドフューチャーズ	1.95	5	4.16	0.47	5	
⑤マクロ	2.40	3	3.25	0.74	3	
⑥債券アービトラージ	4.57	1	2.46	1.86	1	
⑦アービトラージ	2.86	2	3.38	0.85	2	
⑧リラティブバリュー	1.62	6	4.92	0.33	6	
⑨破綻債券	-0.50	8	4.25	-0.12	9	

(分析期間) 2018年7月~2019年6月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2018年6月末=1.0)



※ 図表1~5,7,8はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
 ※ 図表6はユーリカヘッジ、リフィニティブより日興リサーチセンター作成
 ※ 分析には2018年7月~2019年6月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックスド・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野（金利や通貨など）に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

«以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する»

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報をもとに作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd